

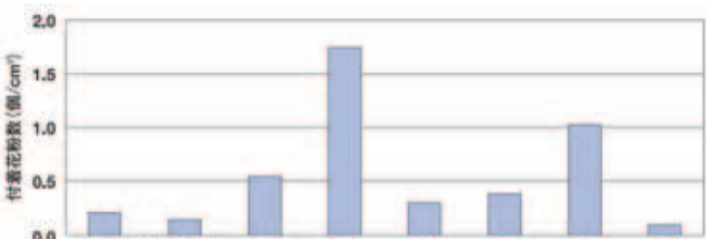
# 花粉付着率 ウールは綿の9.8倍！

## こまめなクリーニング呼びかけ需要拡大につなげよう

素材による花粉付着率

素材	付着花粉率
ウール	980
化繊	180
絹	150
綿	100

綿を100とした時の比率



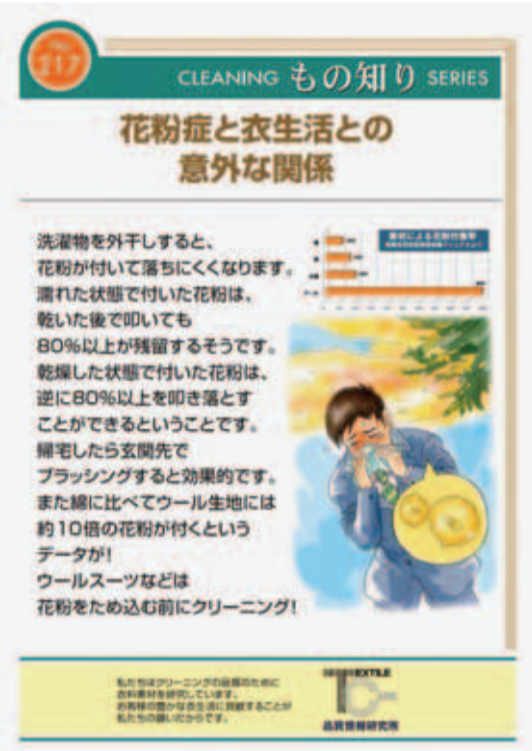
日中屋外に4時間放置した時の各種繊維に付着したスギ花粉数

「環境省環境保健マニュアル」より

クリーニング業界にとって楽しみな春が間もなくやってくるが、一方で国民の2割近くにのぼるといふ花粉症患者にとっては、憂鬱な毎日が続く。特に今年は、昨年の夏が記録的な猛暑となったことから、スギやヒノキ科花粉の飛散量は非常に少なかった昨シーズンに比べ全国的に多くなる見込みで、東海地方や近畿地方の一部では、10倍以上になると予測されている。その他、東北地方、関東地方、西日本でも、昨シーズンの2倍から6倍になる地域が多い見込み。

今年は花粉の大量飛散年となることは、新聞やテレビ等でも報じられているため、一般にも広く浸透。クリーニング店でできる対策として「花粉付着防止加工、をお勧めするチャンス！と言えよう。

かなめ流通グループでポスター発売



花粉の大量飛散年となる今春、かなめ流通グループでは、「ウールスーツなどは花粉をため込む前にクリーニング！」と呼びかける上のポスターを発売中です。サイズはB3で価格は1000円(税、送料別途)。お申し込みは、最寄りのかなめ会員機材商まで。

上の表とグラフは、「環境省環境保健マニュアル」で紹介されているもの。同マニュアルは環境省が作成し、公表している花粉症に関する新しい知見や関連情報を紹介するもので、同省のホームページにも掲載されている。

その中の『Ⅲ. 花粉症を防ぐためには』との項目では、〈マスク〉や〈メガネ〉、〈うがいと洗眼〉などとともに〈服装〉に関しても触れられており、「一般的にウール製の衣類などは花粉が付着しやすく、花粉を屋内などに持ち込みやすいので、服装にも気をつけることが必要」とされている。

また、(上にもある)素材による花粉付着率の表では、綿を100とした場合の比率で、ウールは980になると指摘(東邦大学薬学部・佐橋紀男教授提供のデータ)。そのため、「花粉飛散季節中の外出時の服装は、ウールの衣類は避けた方がよいでしょう。綿またはポリエステルなどの化学繊維のものには花粉が付着しにくく、付着した花粉を吸い込む量を減らすことが期待されます」とある。

しかし、スーツやコートの主素材はウール。多くのビジネスマンにとってウールの衣類を避けるというのは、あまり現実的ではない。そこで、こまめにクリーニング+花粉付着防止加工を活用してもらい、快適に春を過ごそう！という提案とともに、「外干し厳禁、の時期でもあるだけに業界としては、カジュアル品もクリーニングへ、と広くPRしていきたい。

編集後記

桜開花予想が出そろった。昨年は気象庁が撤退し、初めての民間3社だけの予想であった。3月の寒暖の差が激しかった影響で、的中率は1~2割程度と散々な結果だっただけに、各社とも算出方法を改良し、今年は平年並みか、平年より数日早くなるかと予想している▼おかげで昨年は、クリーニングの需要が4月には最低であった。また、夏の猛暑が長く続き、秋の需要も良くなかった。今年はお彼岸位には暖かくなり、順調な出だしになりそうだ▼昨今の風潮で、「バナレ」の傾向が見られる。若者の4人に1人しか興味なくなかった「車バナレ」や、衣類ではユニクロ等が売れて、「クリーニングバナレ」、有名なブランドバナレに若者の「結婚バナレ」等、様々な変化が見られ、全体に消費が大変落ち込んでいるのである▼先日「ライティング」という雑誌を見たら、男の仕事と題して様々な持ち物のメンテナンススマニユアルが載っていた。衣類はもとより靴、時計、車、オートバイ、カメラ等、プロが教える愛用品のお手入れ術教本である。別冊の『男の洗濯』ではデニム、Tシャツ、ジャケット等のシミの取り方、アイロンがけや洗濯グッズなどが詳しく解説されているので、大変参考になります。(TORU)

### 花粉対策に強い味方登場!!

# 花粉付着防止加工剤 ポレノン

**特徴**

- 繊維の隙間や表面の凹凸を平滑な状態に近づけ、花粉の付着しにくい状態にします。
- 付着した花粉が落ちやすくなります。

**性状**

外観: 白色液体  
pH: 5.4±0.5(原液)

比重: 1.01  
イオン性: カチオン  
容量: 4ℓポリ

※花粉付着防止加工ポスターもご用意しております。

**使用方法**

- 使用量は、衣類の表面積1㎡あたり、ポレノン50gを基準とします。
- 衣類全体がしっとりと濡れる程度に、原液または水で希釈してスプレーします。
- 素材によって、希釈する水の量を調節してください。
- 加工後は、通常通り乾燥してください。

**使用上の注意**

- 染色堅牢度を確認してからご使用ください(色泣きを起こすことがあります)。
- スプレーする量が多すぎると、素材によっては縮むことがあります。



本社/〒733-0035 広島市西区南観音1丁目6-13 TEL (082) 232-4111 FAX (082) 292-5207  
 東京支店/〒340-0003 埼玉県草加市稲荷6丁目17-8 TEL (048) 931-6468 FAX (048) 935-1830  
 ホームページ/ http://www.sevenrivers.co.jp